

図書館だより5月号

令和8年5月18日(月)
文責：司書教諭 阿部 友美



図書館利用案内
 昼休み開館（月・水・金）
 1人5冊まで
 貸出期間 2週間

図書館を開館して約1ヶ月がたちました。図書文化委員会では、季節の装飾やオススメ本の帯を作成する予定です。楽しみにしててください。赤川中の図書館には約7300冊の本があります。皆さんが目的の本にたどり着けるように、内容ごとに0～9の番号で分けられ、更にそこから細分化され3ケタの番号がついて並んでいます。本を手にとったら背ラベルを確認してみてください。ジャンルの違いを感じることができると思います。利用したことのない人は気軽に来てみてくださいね。



この0～9の分け方を
日本十進分類法（NDC）と言います。



「走れメロス・山椒魚」(太宰治・井伏鱒二/講談社)



「本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む」
(かまど・みくのしん/大和書房)

○人生で初めて本を読むみくのしんさんの感想が
つっこみどころ満載でオススメです。



「一瞬の風になれ1～3」(佐藤多佳子/講談社)

○スポーツ好きな人ならおそらく一気に読みできます。



「小説鬼滅の刃 無限列車編」(吾峠呼世晴/集英社)

○倒れる煉獄杏寿郎と逃げるアカザで涙腺崩壊。

☆学校司書 三嶋より☆
 皆さんこんにちは。もうすぐ体育祭ですね。図書館からグラウンドが一望できるので、練習している様子や元気な声が聞こえてきて私も元気をもらっています。
 さて、実は私は中学3年間リレーの選手でした。目立つのが苦手だった私になぜ活躍要員になったかという、小学生の時『補欠選手だったのに本番で走らせる』という不運に見舞われたからです。案の定、私のポジションで抜かれて悪目立ちし、悔し涙を流しました。その出来事をきっかけに補欠という危うい立ち位置から脱却！どうせ目立つなら活躍したいと吹っ切れたんですね。走る前の緊張感や、風を切る感覚が思い出されます。
 今回は【走る】をテーマに本を集めました。皆さんも体育祭、悔いなく全力で頑張ってくださいね^^